

地球温暖化対策計画書及び実施状況報告書 作成マニュアル

第1号及び第2号該当事業者用

横浜市 環境創造局
環境管理課（計画書制度担当）

はじめに

- このスライドでは、地球温暖化対策計画（計画書）、実施状況報告書（報告書）等の作成方法、提出方法を御紹介いたします。
- 計画書や報告書の提出は、条例※に定められた義務です。期日（7月末）までの作成、提出をお願いいたします。

※：横浜市生活環境の保全等に関する条例

作成する書類


- ① 算定根拠 (「根拠算定ツール.xlsxm」)
- ② 計画書、報告書 (「計画／報告.xlsx」)
- ③ 提出書 (「提出.xlsx」)


手順 1：作成書類の様式をダウンロード

様式①、②、③をダウンロードし、同一フォルダに格納します。

※①の算定結果を②に転記するために、2つを同一フォルダに格納する必要があります。

 ①根拠算定ツール

 ②計画／報告

 ③提出

①は、該当号数の規模に応じたファイルをダウンロードしてください。

該当号数	規模	ファイル名	
1, 2号	事業所数	30以下	santeikonkyo12_30.xls
		31～150	santeikonkyo12_150.xls
		151～750	santeikonkyo12_750.xls
3号	自動車台数	500以下	santeikonkyo3_500.xls
		501～3000	santeikonkyo3_3000.xls

②③は、事業者別に用意されたファイルをダウンロードしてください。

手順2：ダウンロードした各様式への記入

①根拠算定ツール

排出量等の算定根拠を作成するため、事業所別にエネルギー使用状況等を記入する。

②計画／報告

算定根拠ツールから転記された内容を確認しながら、状況・説明等を記入する。

計画／報告に
自動転記

③提出

担当者連絡先等を記入する。

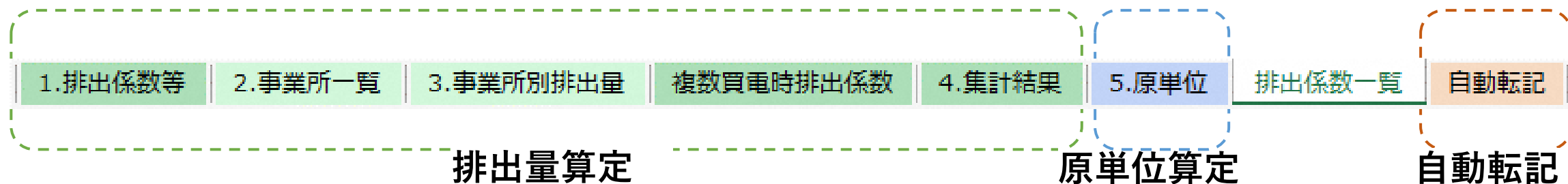
手順3：

記入済みの①②③を
電子データで提出

各様式の作成方法は次ページ以降で説明します。

①根拠算定ツールを記入する

■エクセルファイルのシート構成



- 排出量を算定するため、1.排出係数等、2.事業所一覧、3.事業所別排出量の順に記入をしてください。
- シート1から3の入力結果が、4.集計結果へ反映されます。
- 原単位あたりの排出量を算定する場合は、5.原単位も記入してください。
- 最後に、自動転記シート内の転記ボタンをクリックすると、計画／報告ファイルに集計値が転記されます。

①根拠算定ツールを記入する

■排出量算定の記入項目

シート名	記入項目
1.排出係数等	<ul style="list-style-type: none">・ エネルギー種別の排出係数の確認、修正
2.事業所一覧	<ul style="list-style-type: none">・ 市内全事業所の名称及び住所を記入（事業所一覧の作成）・ 事業所ごとに、電気の排出係数を指定 <p>※年度途中で電力会社を変更するなど、複数の電力会社を利用の場合、 [複数買電時排出係数] シートを使用して排出係数を算出してください。</p>
3.事業所別排出量	<ul style="list-style-type: none">・ 事業所ごとにエネルギー使用量を記入 <p>※原油換算エネルギー使用量500kl未満かつ電気の排出係数が同一の 事業所はグループ化して使用量をまとめて記入できます。</p>

シート1～3を入力すると、4.集計表シートに排出量等が自動計算され、一覧表示されます。

①根拠算定ツールを記入する

■原単位算定の記入項目

※すでに提出した計画書において原単位を用いた目標設定をした場合のみ記入が必要です。

シート名	記入項目
5.原単位	・原単位分母、単位等を記入

■自動転記の操作

シート名	記入項目
自動転記	【記入項目はありません。転記操作を行ってください。】 ・シート内の自動転記ボタンをクリック →計画／報告ファイルに集計値が転記され、 個別票が必要な枚数自動生成されます。

②計画／報告を記入する

■エクセルファイルのシート構成

※これまで別々のエクセルファイルであった、計画書ファイル、報告書ファイルを、**2022年度から一体化**いたしました。

報告【1】 | 報告【2】 | 報告【3】 | 報告【4】 | 報告【5】 | 報告【6】 | 報告【個別票】

報告書

2022年度に計画書を作成する必要のない事業者の様式には、計画書シートがついておりません。

計画【1】 | 計画【2】 | 計画【3】 | 計画【4】 | 計画【個別票】

次期計画書（計画期間：2022～2024年度）

報告書と計画書の重複項目については、報告書の値が参照されます。
次期計画は、報告書記入後に作成してください。

②計画／報告

(報告書部分) を記入する

■各シートの記入項目一覧

シート名	項目	記入要領
報告【1】	1 事業者概要 2 計画期間 3 公表方法	・ 提出日を記入 ・ 事業者概要等は、変更がある場合上書き
報告【2】	4 排出の抑制に係る目標等	・ 目標の達成状況を記入
報告【3】	5 クレジットの取組状況 6 再エネ利用設備の稼働状況 7 次世代自動車の導入状況	・ クレジット及び再エネ利用設備の状況を記入（導入がなければ記入不要） ・ 次世代自動車の導入状況及び保有状況を記入、 <u>導入・保有がない場合も「0（ゼロ）」を記入</u>
報告【4】	8 重点対策	・ 各対策の管理基準等の設定状況、実施状況をそれぞれ選択
報告【5】	9 自主的な対策	・ 設備更新、運用改善、低炭素電気への切替え等の対策による削減量を記入（導入がなければ記入不要）
報告【6】	10 その他取組 11 特記事項	・ 廃棄物削減の取組や環境教育等の取組状況を記入（取組がなければ記入不要）
報告【個別票】	1 事業所概要 2 排出の抑制に係る目標等	・ 事業所の概要、目標の達成状況を記入 ※目標値はすでに提出した計画書を参照

②計画／報告（計画書部分）を記入する

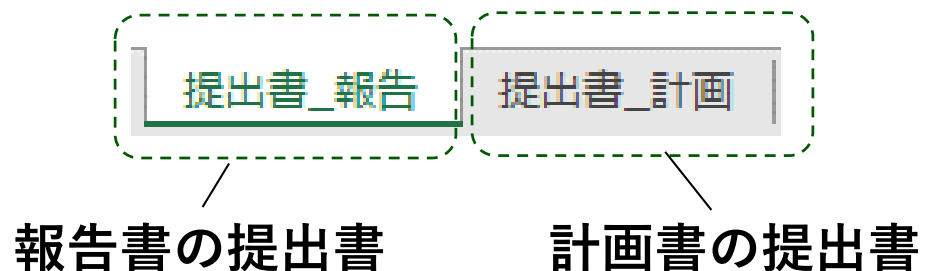
■各シートの記入項目一覧

シート名	項目	記入要領
計画【1】	1 事業者概要 2 計画期間 3 排出抑制の基本方針	・ 排出抑制の基本方針を記入 ※報告書と同一の情報は入力済み
計画【2】	4 公表方法 5 排出の抑制に係る目標等	・ 目標の設定状況を記入 ※報告書と同一の情報は入力済み
計画【3】	6 クレジットの取組状況 7 設備等の新設・更新計画 8 次世代自動車の導入状況・計画	・ クレジット、設備更新、次世代自動車について、導入計画を記入（計画期間中の予定がない場合は「無」を選択） ・ 次世代自動車については、3月31日時点の保有台数を記入、 <u>（未保有の場合も、「0（ゼロ）」を記入）</u>
計画【4】	9 重点対策	・ 各対策の管理基準等の設定状況、実施状況をそれぞれ選択
計画【個別票】	1 事業所概要 2 排出の抑制に係る目標等	・ 事業所の概要、目標の達成状況を記入 ※目標設定の記入については、原油換算エネルギー使用量1,500kl以上の事業所は必須、それ以外は任意

③提出 (提出書) を記入する

■エクセルファイルのシート構成

※これまで別々のエクセルファイルであった、計画書提出書ファイル、報告書提出書ファイルを、**2022年度から一体化**いたしました。



報告書の提出書と計画書の提出書の重複項目については、報告書の提出書の入力が参照されます。

2022年度に計画書を作成する必要のない事業者の様式には、提出書_計画シートがついておりません。

③提出（提出書）を記入する

■記入項目一覧

項目名	記入要領
①提出日	提出日を記入
②計画責任者	全体を統括する方を、本社等における役員等の中から選任して記入
③計画推進担当者	実務を統括する方を、従業員等の中から選任して記入
④連絡担当者	市との連絡窓口になっていただく方を、従業員等の中から選任して記入

②、③については、市内の事業所を統括する支店がある場合は、当該支店から選任可能

手順3：記入済みの①②③を電子データで提出

■作成した電子データ一式を、以下のいずれかの方法で提出してください。

○電子申請システム（推奨）

← 提出方法を新規追加しました。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/bc55b7a3-2a25-4a8a-ad95-084ad1ee8c04/start>



○電子メール

ks-keikakusho@city.yokohama.jp

※メール件名を「【提出】地球温暖化対策計画書書類」としてください

○持参／郵送

住所：〒231-0032 横浜市中区本町6-50-10 27階南側

横浜市環境創造局環境管理課（計画書制度担当）

※提出する電子媒体はCD-R、DVD-R（フラッシュメモリー等は除く）とします。

副本が必要な方は、紙媒体を窓口へ持参もしくは郵送（所定額の切手を貼った返信用封筒を同封）してください。